

岡治茂夫氏文書 (2) 概要

- 1: 文書群番号 096021
- 2: 文書群名 岡治茂夫氏文書 (2)
- 3: 出所 岡治茂夫家
- 4: 家業・役職等 近世：友行村庄屋
- 5: 地名 摂津国武庫郡友行村／兵庫県武庫郡友行村／武庫郡武庫村友行／尼崎市友行／尼崎市武庫之荘七丁目ほか
四
- 6: 行政区分 (一) 旗本長谷川氏(守知系)知行所／同氏(守勝系)知行所／兵庫県第八区／常吉組戸長役場／武庫村／尼崎市、(二) 旗本長谷川氏(守知系)知行所／幕府領／武蔵国忍藩阿部氏(忠吉系)領／幕府領／尼崎藩領／(近代以降は(一)に同じ)
- 7: 歴史 友行は市域北西部に位置する武庫地区の大字である。史料上の初見は建治3年(1277)で、「野間村友行名」と記されており、野間荘の名田開発領主名に由来する地名と推測される。隣村の時友も同荘の名田であり、中世から近世にかけて野間荘が野間・友行・時友の三村に分離していったものと考えられる。村高は「慶長十年摂津国絵図」で295.2石、「元禄郷帳」「天保郷帳」では300.862石となっている。水利に関しては富松井組に属した。岡治家は近世には友行村相給のうち、幕府領・忍藩領・尼崎藩領となった部分の庄屋を務めた家である。
- 8: 伝来 平成8年(1996)10月に岡治孝雄氏より借用し、10年3～4月に整理・目録作成を完了、17年4月に寄贈された。
- 9: 史料入手先 岡治孝雄氏(原蔵者子息)
- 10: 点数 16点(目録件数16件)
- 11: 年代 元禄10年(1697)～明治12年(1879)
- 12: 構造と内容 本文書群は、岡治茂夫氏文書(1)1,055点、岡治孝雄氏文書7点と本来一体のものである。大部分は近世文書で、元禄・享保・元文など比較的古い時期に作成されている。内容は岡治家の私的文書であり、同家所有地所の境界争論・土地売買に関する証書類や田地名寄帳、家督相続に関する史料がある。
- 13: 関連史料 岡治茂夫氏文書(1)、岡治孝雄氏文書、友行部落有文書など
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 松迫寿代